

# 南青葉だより 陽だまり

第7号 発行日：2022年1月1日 発行者：南青葉台自治会長 古谷 桂子

## 新年のご挨拶

皆様あけましておめでとうございます

旧年中は、自治会へのご理解、ご協力をいただきありがとうございました。特に、皆様からの「応援してますよ！」とか「頑張ってる！」等の温かいお言葉をかけていただく度に元気をもらい、私の心の中に宝物として残りました。本当にありがとうございました。

令和3年もコロナ禍が収束せず、例年行われていた行事も中止せざるを得なくなりましたが、ハロウィンだけは小学生のみの参加と規模を縮小しながらも行うことができ、元気いっぱいの笑顔に出会うことができました。

ハロウィン1つ実施するにも皆様方のご理解、ご協力がなければできないことを改めて痛感させられました。色々ご協力いただきました方々には厚くお礼申し上げます。

お正月早々哀しいお知らせをして申し訳ございませんが、令和2年は17名、令和3年は11月末迄で18名の方々が旅立たれました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。ご逝去に伴い高齢者の独居が増えているのが現実です。度々同じ事を申しますが、高齢化が進み「遠い親戚より近くの他人」と申しますように、ご近所仲良く安心して住める街にと、お役に立てる自治会でありたいと考えております。

ようやくコロナの出口も見えてきた感があり、今まで以上に皆様のお声に耳を傾け、自治会の進む方向の参考にしたいと思いますので、ご意見、ご要望をお寄せ下さいます様にお願いいたします。本年も、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

今年は五黄の寅年で、強運の年と言われております。

この寅年におやかりまして、今年こそは、皆様にとりまして良いお年となります事を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

2022年 元旦  
自治会長 古谷桂子

## ハロウィンパーティを行いました

10月30日、秋らしい陽気の中、仮装した子どもたちが地図を片手に、4か所のチェックポイントをめぐり歩きました。「トリック・オア・トリート」「ハッピーハロウィン」と言ってお菓子をもらって大喜び。1時間半と短い時間でしたが、たくさんの子供たちの笑顔や元気な声を聴いて、賑やかな時間を過ごしました。下級生に声を掛ける上級生の姿も見られ頼もしいかぎりでした。お世話していただいた保護者の方々、また、見守り隊・青色防犯パトロール隊・民生委員の方々ありがとうございました。（34名の子供が参加）



## 年末一斉清掃へのご協力ありがとうございました

12月12日の年末一斉清掃には大勢の方々に参加していただきました。天候にも恵まれた中、皆様と共におこなった清掃作業により、どの公園、緑地も見違えるほど綺麗になりました。また、地域住民の交流を持つ場ともなり、非常に有意義な時間となりました。ご参加してくださった皆さん、ほんとうにありがとうございました。

### 自治会の活動状況と予定

11月 3日	親子防災訓練
11月14日	定例役員会
11月18日	廃品回収日
12月 5日	定例役員会
12月12日	年末一斉清掃
12月16日	廃品回収日
12月27日	歳末夜警（予定）
1月 9日	定例役員会（予定）
1月20日	廃品回収日
2月 6日	定例役員会（予定）
2月13日	班長委員会決定会



### 編集後記

河内長野市では11月に11名の新規感染者が確認されましたが、12月に入ってから感染者はゼロとなっています。新型コロナワクチンの接種もすすみ、65歳以上の91%、全体でも85%の市民が2回目の接種を完了し、今年に入ってから3回目の接種も予定されています。

長らく活動出来ていなかった各種クラブ活動の再開も予定され、ようやくコロナ禍も落ち着いてきた気もしますが、油断せず、引き続き感染防止活動にご協力をお願いします。

## 加賀田地区の民話 第7話

今回は、お正月にちなみ注連縄のお話を、ご紹介いたします。

「正月の注連縄(しめなわ) 正月にはな、鍬(くわ)でもなんでも百姓の道具へみな注連縄を張りましたけどな、この頃はもうカドグチ(家や門の入り口)だけしか張れませんが、昔はみな張りましたわ。」

家で飾る注連縄は、神さんと井戸と便所と、へて、野道具(お葬式に用いる道具のことですが、ここでは百姓道具のことを指していると思われます) そうゆうものに飾りましたな。注連縄かて、神さんのは一・五・三ですけどな、便所は四・五・三、井戸は二・五・三ですわ、く濁(にご)さんちゅてな。道具に飾るんは一・五・三ですわ。

注連縄かて今はこんな太いのですけどな、昔はなあ、細い縄なつてな、一番最初に(編んでいる藁のうちの)一本出して、その次は五本出して、へて、その次は三本ですわな、神さんのは。」

「加賀田地区の民話」市教育委員会発行より要約

## アンケート(班長さん対象)から見る南青葉台④

令和2年度の48名の班長さんに、「一年を振り返ってアンケート」に、お答えいただきました。前号に引き続きご紹介しします。【1年間の活動を通じて、感じられたこと、考えられたこと】たくさんのご感想・ご意見を頂きありがとうございました。紙面の許す限りご紹介いたします。

### ●アンケートから見えた賞賛

住民が住み易く、会員として継続できるよう、組織の改善をし、自治会の発展を考慮されたことに感謝
自治会だよりの発行は、大きな前進、読みやすく、名前も良いのが決まった
コロナに関係なく、回覧は1ヶ月に一回に纏めてされるのが良いのでは。目次が付いて見易くなった
高齢化が進む中で、コロナ禍による行事の縮小は、班長の負担軽減になり、ありがたかった

### ●アンケートから見えた問題点

問題点	対策
委員会内のコミュニケーション不足	各委員会で努力
高齢化で活動が一部の人でおこなわれており、活動内容が見えない	自治会だよりの「陽だまり」でご紹介
自治会館の空き状況がわかりにくい	玄関ドア右側に一か月分を貼り付け、外から確認可能
自治会館の汚れ、ルーズな利用	床の汚れは、会館委員会の皆さんの奮闘により改善、 なお、会館利用の際は、会館委員長に「会館使用願い」を出し、「使用許可書及び使用細則」をもらい、利用後は「会館使用后チェックシート」を提出

### ●アンケートから見えた今後の課題

班長の順番が回ってきたら、気持ちよく班長・委員長を引き受けられる体制づくり
事情があって、班長を引き受けられない場合、無理することなく辞退できる体制づくり
一人世帯が増えてきたので、助け合いや福祉に力を入れる必要あり

## ～ 青葉台のお宝さん ⑥ ～

### 子ども見守り隊（隊員18名）

#### <見守り活動>

登校時の立哨	2か所(横断歩道、信号交差点)
下校時の同行	1年生及び学童

「子どもたちが、安全に通学できるように見守り」  
「元気にあいさつ出来るように、子どもたちに声掛け」

南青葉台地区における福祉活動の一貫として、子どもたちの安全を確保するため、『朝の登校時』『一年生の下校2時半ごろ』『放課後児童(学童)夕方5時ごろ』の一日3回、18名のメンバーでローテーションを組み、見守り活動を行っています。

メンバーの平均年齢は76歳。暑さ、寒さ、上り坂には敏感な年齢です。

我々は、下校時間に校門前で待機し、先生の「走らないで仲良く一緒に帰りましょう。それでは皆さんさようなら」の挨拶が終わると同時に走り出す子、一緒に帰る友達を捜す子、そんな天真爛漫で我々の話には聴く耳を持たない元気が余る子どもたち、1年生5名、学童6名の付き添い見守りが始まります。

学校を出て早速、傾斜地を駆け登ってバッタや虫を探す2・3人の子どもに「滑って怪我するから降りなさい。」雨のあとは側溝に入ってジャブジャブ「おい、そこは道でないから上がりなさい。」子どもたちは聞こえないふりをして一生懸命楽しめます。(私の子どものころを思い出します)先に走って行った子どもは学校出口のフェンス前で待っています。フェンス破れも、側溝の溝蓋も安全に登下校できるように修理されています。(見守りの方々が市に修理を依頼され改善されたものです)

バス通りに出ると「車に気を付けてね」の声掛けの下、縁石の上をヒョイヒョイ手でバランスを取りながら歩く子。「車道側に落ちたら車にひかれるぞ!!」「ダイジョーブ!」「死んでしまうから言っているのだぞ バカモノ!!」しかし、後ろを振り返ると他の子どもたちも同じようにヒョイヒョイ……。7・8年前に他校区で起きた死亡事故を思い出し、こちらは厳しく叱ります。

ようやく南青葉台に入りました。二人の子どもは家に帰ります。「ありがとうございました。さようなら!」しっかりした躰を感じます。横断歩道で見守り隊もバトンタッチ、さあ、これから上り坂です。

子どもたちの悪戯やおふざけは三年生になるとピタッと止まります。少し寂しい気持ちもしますが、子どもたちの成長を感じる一瞬です。4月にはまた新手がやってきます。

明日も無事故でありますように。



1年生下校



学童下校